

掛川市教育委員会定例会会議録

教育委員会事務局

会議の名称	平成25年6月掛川市教育委員会定例会		
場 所	教育委員会室	作 成 者	教育委員会教育政策室 富田正昭
開 催 日 時	平成25年6月19日(水) 午後1時30分から午後2時30分まで		
作 成 日 時	平成25年7月5日(金)	次回開催日	平成25年7月24日(水)
資 料	下記会議次第及び別紙添付資料のとおり		
出 席 者	委員長 委員長職務代理者 教育委員 教育委員 教育長 教育次長 小野恵美子 松下一徳 山本和子 永田孝明 浅井正人 平出行良 学務課長 学校教育課長 幼児教育課長 社会教育課主幹 図書館長 教育政策室長 教育政策室指導主事 教育政策室教育企画係長 中根純一 佐藤嘉晃 松浦充誠 戸田弘美 大石功一 平野功一 豊田彰規 豊田正昭		

【会議次第】

- 1 開会
- 2 5月教育委員会定例会会議録の承認について
- 3 教育長の報告
- 4 協議事項
 - (1) 学校評議員の委嘱について
 - (2) 掛川市子ども読書活動推進会議委員の委嘱について
- 5 報告事項
 - (1) かけがわイングリッシュイマージョンキャンプ等の募集について
 - (2) 掛川市内小中学校のあらわれについて
 - (3) 第14回静岡県市町対抗駅伝競走大会について
- 6 その他
 - (1) 平成25年6月市議会定例会一般質問について
 - (2) 次回定例会の日程等について
 - (3) 定例教育委員会開催会場について
- 7 閉 会

【議決次第】

- (1) 学校評議員の委嘱について

学校教育課長から、資料1のとおり「学校評議員設置要綱」により任命するものである説明があった。

今回は、5校分であり、その内、新任は、東山口小で3人、桜木小で2人、横須賀小で1人、北中で3人、城東中で1人であります。

特に意見はなく、承認された。
- (2) 掛川市子ども読書活動推進会議委員の委嘱について

図書館長から、資料2により説明があった。

「掛川市子ども読書活動推進会議規程」第3条に基づき委嘱したいものです。選任の事由につきましては、前任者の辞任及び充て職の交替のためであります。8人の委員が新任であり、任期は、前任者の残任期間であり、平成26年3月31日迄となります。

特に意見はなく、承認された。

【報告事項】

- (1) 平成25年度「かけがわイングリッシュイマージョンキャンプ」「かけがわイングリッシュイマージョンデイトリップ」の募集について

学校教育課長から、資料3により以下の説明があった。

キャンプについては、8月1日、2日の1泊2日で、定員40人に対し、77人の応募がありました。今後、人数の調整を図っていく予定であります。

- (2) 掛川市内小中学校のあらわれについて

学校教育課長から、資料4により以下の説明があった。

最近のトピックとしては、5月中旬に栄川中で今回で3回目の「避難所生活体験学習」が行われ、生徒は、地域の方々や消防署員の指導を受け、集団生活のルールやマナー、防災に関する知識や心得等を学びました。5月21日には、西郷小で地元の地域おこし団体の指導による田植えの体験学習が実施されました。また、29日には、お茶の手揉み体験学習が実施されました。6月6日には、桜木小で「小田原市の尊徳記念館解説員」である「堀田義宣」氏を講師にお招きし、報徳の教えなどを学びました。6月7日には、倉真小で「金次郎を知る会」が開催され、「金次郎委員会」による寸劇や金次郎七代目子孫である中桐万里子氏の講演会を通して金次郎の報徳の教えなどを学びました。また、同日、生涯学習センターにおいて環境月間県民大会が開催され、西郷小学校が知事褒賞を受賞し、会場で表彰されました。5月中の交通事故、非行等問題行動等の件数につきましては、資料の通りです。

- (3) 第14回静岡県市町対抗駅伝競走大会について

社会教育課主幹から、資料5により以下の説明があった。

日程は、平成25年11月30日土曜日でスタート時間は、午前10時を予定しています。6月13日に競技役員の委嘱式を行いました。監督は横須賀高校陸上競技部監督の稲村健教諭にお願いしています。大会の目標については、市の部で15位以内を掲げ、敢闘賞を目指しています。選手の選考会を3回開催し、10月17日に結団式を行い、11月30日の本番に臨む予定です。

【その他】

- (1) 平成25年6月市議会定例会一般質問について

教育次長から、資料6により以下の説明があった。

議会の一般質問であります。24日に6人、25日に5人が行ないます。教育委員会関係の通告質問については、4頁の鷲山喜久議員の「憲法第96条の改定」について教育長として反対か何うという内容のもの。9頁の中上禮一議員の「協働のまちづくり元年に当たって、市長の思いを何う」という質問に関連して「偉人の功績を大切にすることを育むこともまちづくりに大切と思うがいかがか」という質問がありました。また、14、15頁では、渡邊久次議員の「教育・子育て支援の充実」について4項目の質問がありました。教育委員会内の各担当課で以上の質問に対する答弁書を作成してありますが、今後は、さらに市長部局も含め庁内全体で協議し、最終的な答弁書を作成していく予定となっています。

- (2) 次回定例会の日程等について
(3) 定例教育委員会開催会場について

教育政策室次席兼係長から、資料 7、8 により一括して以下の説明があった。

次回 7 月の定例会については、7 月 24 日水曜日に大日本報徳社で開催予定であります。時間につきましては、午後 1 時 30 分開始予定であります。資料 8 の会場検討資料にありますように定例教育委員会を市内の文化施設等を借りて年 2、3 回開催します。10 月下旬に「松ヶ岡」、2 月下旬に「貞永寺」を予定しています。

① 7 月定例会

日 時： 7 月 24 日(水) 午後 1 時 30 分～
開催場所： 大日本報徳社

② 8 月定例会

日 時： 8 月 22 日(水) 午後 3 時 30 分～
開催場所： 市役所南館 教育委員会室

③ 2 月定例会

候補日： 2 月 19 日(水) ・ 2 月 25 日(火)
開催場所： 貞永寺

学務課長： 前回の定例会で山本委員からご質問のありました「給食文化苑こようの丘」の食材の納入のうち肉類の納入方法について回答させていただきます。こようの丘での納入先の選定につきましては、月 1 回の入札制度を採用し納入先を決定しています。納入先につきまして、市内では、3 つの事業者からなる掛川食肉事業協同組合及びその他 5 つの事業者が給食食材の供給事業者として登録されています。また、市外では浜松の事業者が登録されています。納入の金額実績では、掛川食肉事業協同組合と浜松市内事業者でおおむね半分ずつの割合であります。浜松市内事業者の納入割合の高い理由としましては、主に鶏肉に関しまして、良質で安価である事、鶏の唐揚げ等に使用する肉の切り方が均一であることなどによるものであります。掛川食肉事業協同組合の 3 事業者につきましては、事業者ごと鶏肉の切り方がそろわない等の理由から、現在、鶏肉以外の肉を納入していただいております。最近では、鶏肉の見積もりがだいぶ安くなってきたため条件が揃えば地元の業者からの納入を検討していきたいと考えています。

委員： ありがとうございます。地元の業者にもがんばっていただき、地産地消や収益を上げて納税に貢献していただきたいと思います。

委員： 旧掛川市立病院の跡地利用の進捗状況について、お伺いしたい。特に教育施設についてお願いします。

教育長： 現在、希望の丘構想の中で進めている特別支援学校につきましては、県の施設でありますので、常に県と市が連携を取りながら事業を進めているところであります。特に学区の関係につきましては、隣の袋井市に特別支援学校がありますので、旧掛川

大東地区は、希望の丘の学区に、旧大須賀地区は、袋井の学区ということですが、希望を聞いてくれるということです。希望の丘全体の構想としましては、全施設の平成27年4月のオープンをめざし、全体を医療、福祉、介護、教育等いくつかの施設から成る一つのキャンパスのように捉え、地元の要望等を訊きながら各施設の色などの統一感を図るなど一緒に検討・研究をしているところであります。

委員： 特別支援学校の受け入れ年齢についてお伺いします。

教育長： 小・中・高等部があり、知的障害、肢体不自由等重複障害を持った児童、生徒を対象としています。また、定員は、170人です。

委員： 幼稚園は、対象外ですか。また、特別支援学校の児童、生徒が中央図書館等の施設を利用する事は可能ですか。特にバリアフリー化についてのお考えをお聞かせ願いたい。

教育長： 幼稚園は、入っておりません。特別支援学校の児童、生徒が中央図書館等の施設を利用することは可能です。障害を持った児童、生徒が、施設の利用をしやすくするためのバリアフリー化などは、今後確認していきます。

また、学園化構想の中にありますように、特別支援学校の児童、生徒と地元との地域間交流や希望の丘キャンパス内の施設間交流などを今後図っていきたいと考えています。

